

# 組織部報

国労東日本本部 2018年2月26日

組織部

No.19

## 本来の賃金交渉を始めよう！ 「東労組は迷走、スト準備指令等を解除」

前号で報告した東労組の動きが、さらに混乱を深め急な動きを見せています。

2018新賃金要求と切り離された「JR東労組闘争第1号（いわゆる未来永劫にわたる格差ベア根絶要求）交渉」は、本社経協や支社経協取りやめのなか、23日に行われたようですが、またも平行線をたどり26日に持ち越し？ まだ東労組からは「新賃金要求（4月以降の賃金改定等の要求）」も出されていません。国労他の組合は2月に「賃金改善等についての申し入れ」を行っています。そんななか急ぎよ、東労組は「格差ベア是正を求めるスト準備指令・非協力闘争指令を解除」など迷走状態が続いています。

### 数千名超えが、脱退は一般職へ波及

会社と東労組を巡って、6日の「格差ベア」を巡った会社との対立、産経新聞報道で表面化してからまだ三週間。この短い期間での東労組からの脱退は、既に5000名超え（2月26日現在）と言われています。分会長預かりや、職場組合員全員で本部へ郵送したなどあり正確には不明ですが、本社・支社に限らず現業機関の管理職・一般職に波及しています。

### 戦術行使の中止」等求める署名活動も

また一方、「JR東労組委員長宛」に「東

日本旅客鉄道労働組合 組合員有志一同」名で、「あらゆる戦術行使の中止と戦術行使の失敗を猛省し、臨時大会の早急開催」を求める署名が出回ったり、混とんとした情勢の中、大量脱退を抱え、急ぎよ東労組は24日「格差ベアの根絶を求めるスト準備指令と非協力闘争の指令」を解除しました。

### 職場の乗客組合員も脱退

職場の組合員は、どのようにこの動きを捉えているのでしょうか。

例えば東京の施設職場では次々に「分会長などほんの一部を除き、全員で脱退届を本部へ郵送した」、駅職場でも「助役が次々と分会長に脱退届をつきつけた」、「びゅー全員で抜けた」「××駅も一人除き全員脱退」との報。

若手の駅女子社員（東労組組合員）は、「組合の何でも上から押しつけてくるやり方についてはいいけません。ストはやりたくありません。この会社に入った以上、この組合に入らなければいけないと思っていましたし、みんなが抜けるならついていきたいです」と語っていました。

組合ですから様々な意見の方がいて当然ですが、この声はJR採用組合員の一般的な声、組合の捉え方ではないでしょうか。

《情報続々、次号に続きます》